

平成15年度ホタテガイ採苗情報（第6報）

平成15年5月15日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「付着稚貝数が大幅に増加。」

1 ラーバの出現状況

5月14日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、200 μ m未満が155個/トン、200 μ m以上が885個/トンと、前回調査時（合計88個/トン）より大幅に増加しています。

なお、調査時の水深10m層の水温は8.6 $^{\circ}$ Cと、前回調査時と同じ値でした。

2 試験採苗器による付着稚貝調査

5月12日以降の調査において、全調査地点で付着稚貝が確認されています。

付着数は、16～6,160個/袋でした。

大船渡地区の六ヶ浦で横這いであるものの、その他の地点では増加し、多くの稚貝が付着しています。特に、釜石地区の日出島、釜石地区の唐丹、大船渡地区の吉浜では、1,700個/袋以上と、非常に多い値となっています。

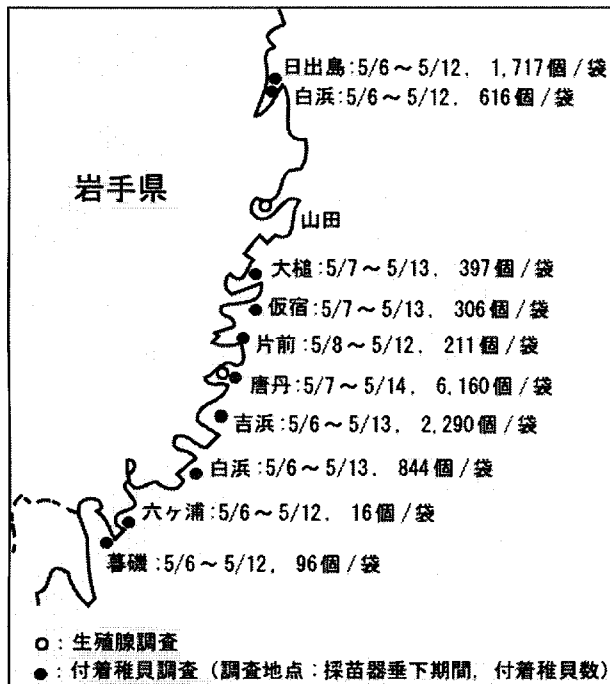


図 調査地点および付着稚貝調査結果

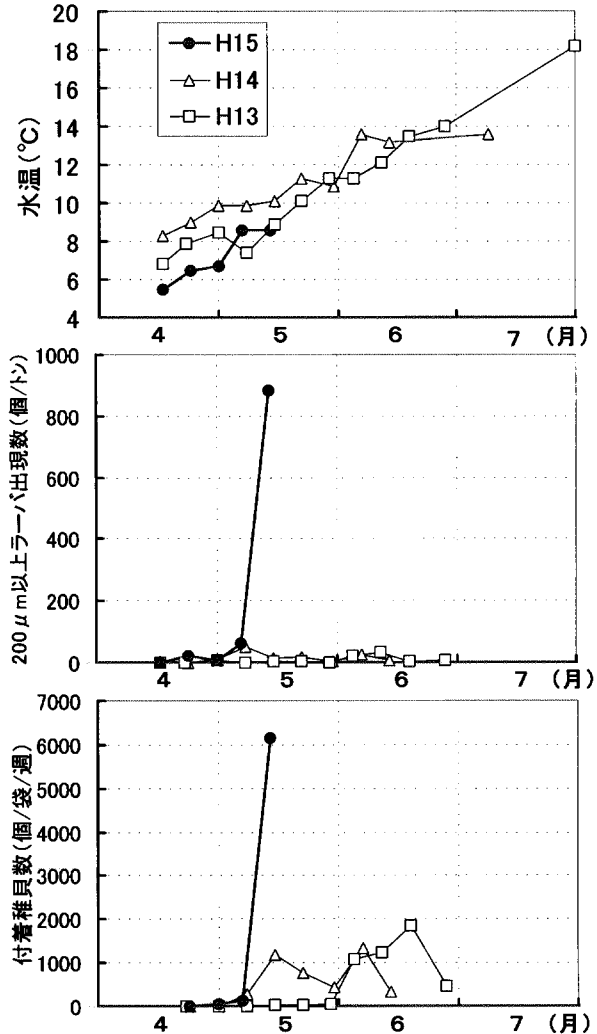


図 唐丹湾における水深10m層水温およびホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

釜石地区では、付着間近の大型のラーバが非常に多く確認され、付着稚貝数も大幅に増加しています。

しかも、付着稚貝のほとんどが付着直後の個体であることから、稚貝の付着は続いているものと考えられます。

次報は、5月23日頃発行する予定です。